

第3 水道局のあるべき姿と環境基本方針

1 重要分野の特定

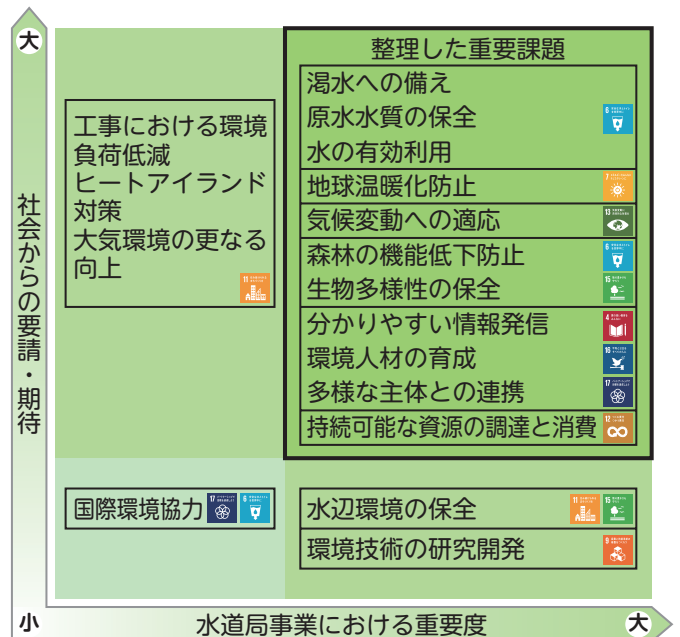
東京都水道局環境5か年計画2020-2024を策定するに当たり、水道局がSDGsの実現に貢献するために、重点的に取り組んでいくべき環境課題を初めに整理し、重要分野を特定しました。

◆環境課題抽出

世界・国などの動向や水道局の事業特性を踏まえ、水道局の環境課題を抽出

◆課題のマッピング

社会からの要請度と水道局事業における重要度を基に、課題に優先順位を付け、「重要課題」と関連するSDGsを整理



◆SDGsと4つの重要分野

重要課題に位置付けたSDGsから4つの重要分野を特定しました。

	目標7 再生可能エネルギーの割合を拡大し、エネルギー効率を改善させる。 目標13 気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる。	脱炭素
	目標6 すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する。 目標15 森林の持続可能な経営を促進するとともに生物多様性の損失を阻止する。	水循環と緑
	目標12 廃棄物の発生を大幅に削減する。	資源循環
	目標4 持続可能な発展を促進するために必要な知識等を習得できるようにする。 目標16 有効で説明責任のある透明性の高い公共機関にする。 目標17 効果的なパートナーシップを推進する。	環境コミュニケーション

※ 目標・ターゲットの内容を基に、水道局の取組例との対応が分かるように表現を変えて記載しています。

2 水道局のあるべき姿

4つの重要分野について、2040年代を見据えた環境に関する水道局のあるべき姿を描きました。

持続可能な社会の実現に貢献するため、公営企業としての社会的責任を果たし、あるべき姿の実現に向け着実に取り組んでいきます。

重要分野	あるべき姿
1 脱炭素  	<p>安全でおいしい高品質な水の安定供給とCO₂排出量の削減を両立し、気温上昇を1.5℃未満に維持する脱炭素社会実現の一翼を担っている。</p>
2 水循環と緑  	<p>事業に不可欠な水資源の保全や、水の有効利用等を通して、将来にわたる健全な水循環の形成に寄与している。</p> <p>水道水源林や水道施設における豊かな緑を将来にわたり守り続け、生物多様性の保全に配慮した事業を展開している。</p>
3 資源循環 	<p>環境に配慮した資源を調達するとともに、その利用及び廃棄に係る環境負荷を最小化するなど、持続可能な資源利用を推進し、循環型社会の形成に寄与している。</p>
4 環境コミュニケーション   	<p>活発な環境コミュニケーションにより、環境取組に対する関係者の理解が十分に得られ、環境施策が持続的に展開されている。</p>

3 環境基本方針と5年後の到達目標

環境基本方針

4つの重要分野に対し、5年間の環境基本方針を定めました。

本方針に基づく施策を着実に推進し、環境基本理念の実現を目指します。

環境基本方針 1

CO₂排出量の削減

エネルギーを大量に使用する事業者として、脱炭素社会の実現に貢献するため、多面的なエネルギー施策を展開し、エネルギー使用に起因するCO₂排出量を着実に削減していきます。

環境基
CO₂排出

環境基本方針 2
健全な水循環と
豊かな緑の保全

環境基本方針 2

健全な水循環と豊かな緑の保全

天然資源である水を原料に活動する事業者として、将来にわたり水を守り続けていくため、水資源の有効利用を推進するとともに、生物多様性に配慮して緑を維持・創出し、健全な水循環と豊かな緑の保全に取り組んでいきます。

環境基
多様な
環境コミュ

第3

水道局のあるべき
姿と環境基本方針

環境基本理念の実現

環境基本方針 3

持続可能な資源利用

物品を多量に調達し、廃棄物等を排出する事業者として、循環型社会の形成に寄与するため、エコマテリアルの利用を促進するとともに、事業活動における省資源化を図り、持続可能な資源利用に取り組んでいきます。

第3
水道局のあるべき
姿と環境基本方針

本方針 1
量の削減

環境基本方針 3
持続可能な資源利用

本方針 4
主体との
コミュニケーション

環境基本方針 4

多様な主体との環境コミュニケーション

お客さまをはじめとする多様な主体との環境コミュニケーションを積極的に推進することで、環境施策の実効性を更に向上させていきます。

5年後の到達目標

2040年代を展望したあるべき姿の実現に向けた2024年度までの到達点として、主に次のような目標を掲げて取り組んでいきます。

	2018年度	2024年度
重要分野 1 脱炭素		
太陽光発電設備の能力	8,558kW	10,000kW
環境基本方針 1 CO₂排出量の削減		
小水力発電設備の能力	2,281kW	2,500kW
CO₂排出量削減義務等への対応		
都内大規模事業所のCO ₂ 排出量削減率	15%	25%
重要分野 2 水循環と緑		
水道水源林の保全作業面積	500ha/年	600ha/年
環境基本方針 2 健全な水循環と豊かな緑の保全		
多摩川水源森林隊参加者数	延べ28,607人	延べ37,600人
局施設の緑化面積合計	21,029m ²	24,000m ²
重要分野 3 資源循環		
浄水場発生土のリサイクル率	44%	70%
環境基本方針 3 持続可能な資源利用		
コピー用紙使用量	31百万枚/年	25%削減
請求書等の紙使用量	58百万枚/年	2022年度からオールペーパーレス化を開始
重要分野 4 環境コミュニケーション		
環境基本方針 4 多様な主体との環境コミュニケーション		
東京水道～企業の森活動受入人数	延べ349人	延べ1,300人

第3

水道局のあるべき姿と環境基本方針